

# お客様との「絆」を深める

日野会計事務所 監査室長  
山岸博臣さん  
（株）日野会計 常務取締役

浜松市北区初生町の日野会計事務所。山岸博臣さんは、同事務所の監査室長として統括的な立場で活躍中だ。

「税金の事は難しいイメージがある。言葉や表現で誤解されることも少なくないためお客様に伝えるのが難しい」というが会社の業績が良くない時、少しでも

役に立つ情報をお客様に伝えたいという強い思いがある。

この仕事はとにかく人間関係が重要。日野会計事務所では、お客様との家族的なつながりを目指している。「まずはお客様を好きになることが大事。自分が好きにならなければ相手に好きになってもらえない。お会いできたご縁を『絆』に変えていきたい」と山岸さん。お客様と密接にコミュニケーションをとり、細やかな対応を目指している。仕事のやりがいは「色々



学生時代はスキー部で体を鍛えていたという山岸さん。その甲斐もあって、入社以来十二年間、風邪などの体調不良で会社を欠勤したことが無いという。

やまぎしひろおみ・昭和四十五年六月五日生まれ。三十八歳。浜松市出身。浜松西高校卒業後、明治大学商学部へ進学。卒業後、東京の企業に就職。その後浜松に戻り、平成八年日野会計事務所に入社。現在に至る。

な人に会おうことが出来る事」特にゼロから新規開拓でお客様と接することが彼自身の刺激になり、考えや知識を深め仕事のモチベーションをより高めてくれるのだという。

逆に難しいのが、「悪い」時の対応。不景気だとしても業績悪化で数字から目を背けたくなる経営者も少なくないが、まずは現実を見てもらい、厳しいことも伝えなければいけないあたりは苦勞する点である。しかしそんな中でも、信頼関係が築かれれば、お客様から色々な相談をされるようになる。「何かあったら山岸に相談しよう」と言われるように、経営者の身近にいたいという思いが強い。

山岸さんが抱く、会計事務所の仕事のイメージは「3K」だという。「暗い、固い、細かい（笑）」がそれで、彼はそんなマイナスイメージを払拭するため社員にも「明るい挨拶」の基本を徹底させている。「私たちは接客業だと思いい、常に人に見られているということを意識して仕事をしなければいけないと思います」と話す山岸さんの今後の更なる活躍が期待される。

## 第五十九回

### 農林水産大臣賞受賞

（農）掛川原田総合製茶工場

## 掛川茶 製造販売

# やぶち園

浜松店／浜松市東区西町三一七  
☎〇五三一四六四一四四一八  
浜北店／浜松市浜北区貴布祿一八四一六  
☎〇五三一五八七六一一四  
本社／掛川市原里二二八二二